

# ひがなかの子

令和 4年10月11日発行 第12号 文責 門田



## ☆一人ひとりが輝き成長する運動会 ～運動会特集号～



総練習の時は同点、  
この日も対抗競技は  
どの種目も接戦に次  
ぐ接戦でした。

台風14号の暴風雨のため9月17日(土)から20日(火)に延期して開催となった運動会でしたが、平日になったことで、観戦することができなかった保護者の方もおいでになったのではないかと心配しておりました。やむを得ないこととは言え、申し訳ありませんでした。

また、保護者の皆様には、3年振りとなるPTA種目への参加、テント等の後片付け(皆さん本当に手際よく協力していただいたおかげ様で子どもたちも早く下校させることが出来ました)、更には、宮崎PTA会長さんには閉会の折、子どもたちの頑張りへのお褒めの言葉と共に、職員への心のこもった慰労のご挨拶もいただくなど、皆様のおかげをもちまして、盛会のうちに無事終えることができました。ありがとうございました。

さて、小学校単独となった今年度の運動会、子どもたちは、残暑の中、児童会の掲げた本年度のテーマ「**仲間と協力し勝利を目指そう!**」のもと、各学年の種目練習に加え、一輪車や応援は、昼休みや放課後も使い練習を重ね、当日は、どの演技や競技でも



テーマどおり、勝利を目指して最後まで力の限り頑張る姿を、私たちに見せてくれました。

応援合戦では、応援団を中心に、赤も白も互いにエールを送りながら、全員参加の見事な応援で、運動会を盛りあげてくれました。



可愛らしさと、リズムカルな動きが、とても愛らしかった1・2・3年生の表現運動のダンス「やってみよう」

勇ましい太鼓の音とかけ声がグラウンドに響き、大漁旗と共に躍動感あふれる舞を見せた4・5・6年生の「南中ソーラン」

4～6年生希望者による「一輪車パレード」は、技が決まる毎に大きな拍手をいただく中、個人技だけでなく皆の心が一つになってこそ生まれる集団美には、素晴らしいものがありました。毎日練習を重ねてきた子どもたちのこれまでの努力が、報われた瞬間でもありました。



本校は学年が一緒になって行う競技・演技がとても多く、何通りもの並び方、やり方を覚えなくてはなりません。それを本番での成功へと導き、支えたのが高学年のリード、低学年の頑張りに拍手を送りたいと思います。更には、種目だけでなく、小学校単独となった分、応援団、開閉会式の言葉、宣誓、放送等の各係の仕事は複数受け持ち、なおかつ学年の準備、後片付けと一人何役もの分担をこなしました。限られた時間の中で、テキパキと活躍した行動力も見事でした。



1年生から6年生まで、どの演技や競技にも終わりまで、あきらめずやりきる姿、児童席や係の席で、仲間を応援する姿、休む間もなく係の仕事を責任を持って果たす姿等、そこには、子どもたちの光り輝く姿、成長



した姿がありました。これまでの練習を振り返りながら、私たち教職員も心揺さぶられ、胸が熱くなるものがありました。

練習や準備期間も含め、子どもたちの熱い思いや一所懸命さがたくさん詰まった運動会。これからも「本気」になって仲間と協力し、支え合っていくことの大切さを学ぶ様々な行事や活動があります。子どもたちが、この運動会で学んだこと、身につけた力は、必ず、これからの学校生活の中で、大きな自信となって生かされることと思います。

今後も、授業や各行事を通して、一人ひとりの児童が心身ともに大きく成長できるよう全教職員で務めてまいりますので、引き続き、保護者・地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

本番当日を迎えるまで、体調管理をしていただいた保護者の皆様、そして、コロナ感染症対策にもご協力いただき観覧して下さった全てのご家族の皆様に心より感謝の言葉を申し上げます。本当にありがとうございました。

### 〇赤白両応援団長さんからの感謝のメッセージ〇

\*運動会を振り返って、まず初めての応援練習の時、みんな覚えてくれるか心配だったけど、みんな総練習の時は大きな声が出せていない人が多く、本番、大丈夫か不安でした。だけど、本番は大きい声で応援合戦ができたのでよかったです。そして、赤組のみんなに感謝したいのは、本気です。赤組のみんなは、練習でも本気で声を出していたので、本番も大きな声が出せているんじゃないかと思います。最初の応援から本番

まで2週間ちょっとしかなかったけれど、みんなよくここまでできたなと練習で本気の声を出してくれて感謝しています。

保護者の皆様、地域の皆様、最後まで応援本当にありがとうございました。



赤組応援団長 山田 潤也

\*6年最後の運動会で団長をさせてもらって、勇気ももてたし、みんなを引っ張っていくのは、思っていた以上に大変だったけど、みんなが応援のふりつけなどを覚えてくれた時はとてもうれしかったし、がんばってよかったなという気持ちになりました。

運動会本場では、応援合戦は負けてしまったけど、みんなが全力を出しきれたので、とても達成感がありました。これからも、この経験をいかしていろいろなことに挑戦していきたいです。

保護者の皆さん、地域の皆さん、ありがとうございました。

白組応援団長 後田 莉久

団長さんの言葉にもあるように、閉会式の時、朝礼台から見た子どもたちの顔は、一つのことをやりきった達成感や充実感に満ち溢れていました。子どもたちのみならず、私たち教職員、保護者の方々にとってもいつまでも記憶に残る思い出の運動会となったのではないかと思います。

